

## 当社グループ製品の BIM データを追加公開

この度、当社製品ラインアップよりオールテレーンクレーンの BIM※データを、BIMobject®※プラットフォーム上に公開いたしました。すでに公開しておりますラフテレーンクレーンの BIM データと併せ、BIM を利活用する設計事務所様、建設会社様等において、当社グループ製建設用クレーンを用いた施工計画を、より容易に行っていただくことが可能になります。

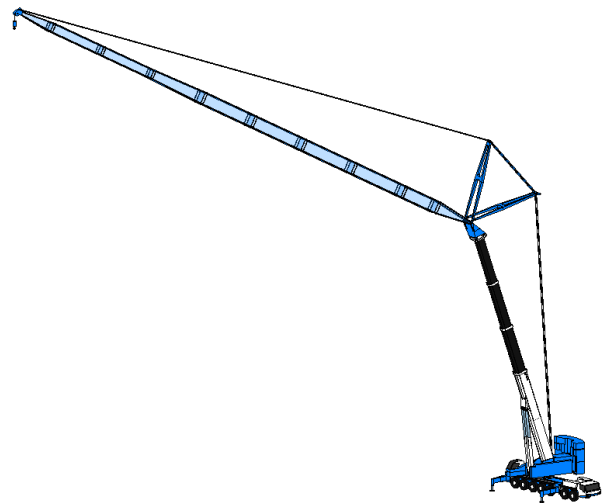
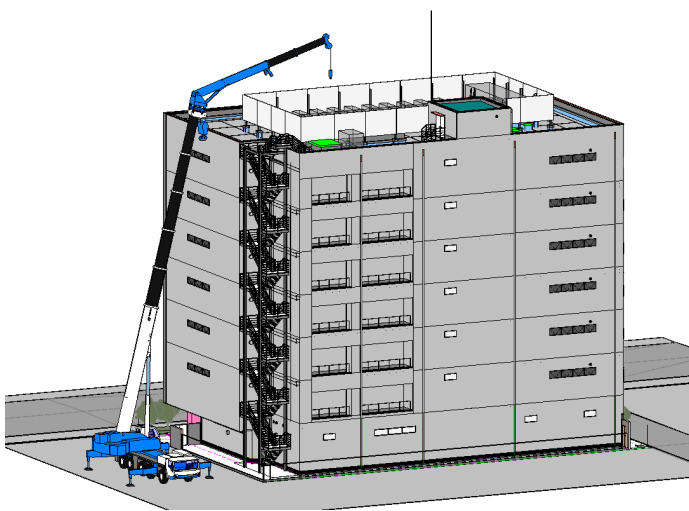
※BIM: Building Information Modeling(ビルディング インフォメーション モデリング)の略。デジタル化された建築物のモデルを構成する部材などに、種類やコストなどの属性を持たせた、建築物のデータベース。これまで設計と施工・保守で分断されていた情報をつなぎ、建設・建築のライフサイクルを管理するためのワークフロー。

※BIMobject®:スウェーデンの BIMobject AB が、世界規模で運用する BIM オブジェクトライブラリのプラットフォーム。世界の建設資材メーカー、設備メーカーなどが参加し、BIM データなどの様々なデータを掲載している。BIM 利用者等は、ユーザー登録を行えば無料でこれらの素材をダウンロードできる。

BIMobject 日本語サイト: <https://www.bimobject.com/ja/tadano>

BIMobject グローバルサイト: <https://www.bimobject.com/en-us/tadano>

Autodesk® Revit®の BIM モデルに、rfa ファイルを配置したイメージ



### 背景

日本国内では、設計、施工、保守を通じた建設・建築ライフサイクルを一元管理するため、国土交通省主導の元、BIM の利活用が進んできました。

諸外国でも同様の動きが進んでおり、建設・建築ライフサイクルの効率化、安全性の向上、品質向上といった成果が挙がっています。

そのような状況の中、建設現場で欠かすことのできないクレーン等の建設機械モデルを、BIM の要素として利用したいというニーズが高まっています。当社ではこのような市場の声に応え、当社グループ製建設用クレーンラインアップの一部の BIM データを提供することといたしました。これにより、BIM 利用者が、複雑で手間のかかる建設用クレーンデータを作成する負担を軽減し、建設・建築業界のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に貢献して参ります。

### 公開する BIM データについて

いずれも、Autodesk® Revit® ファミリ形式(.rfa)で提供いたします。  
以下、日本限定モデル及びグローバルモデルをご用意しております。

AR-7000N-1, AR-5500M-1, ATF400G-6, ATF360G-6, ATF220G-5, ATF-220-5.1, ATF-200-5.1, ATF180G-5, ATF160G-5, ATF-140-5.1, ATF130G-5, ATF-120-5.1, ATF110G-5, ATF-100-4.1, ATF100G-5, ATF40G-2, ATF50G-3, ATF60G-3, ATF70G-4

### **当社 BIM データのホームページ**

- ・日本語: <https://www.tadano.co.jp/service/data/BIM.html>
- ・英語: <https://www.tadano.com/businesses/service/BIM.html>

### **株式会社タダノについて**

1955年に日本初の油圧式トラッククレーンを開発し、建設用クレーンのトップ企業として業界を牽引。常に時代のニーズを捉えた製品開発に力を入れ、LE(Lifting Equipment)事業で世界ナンバー1を目指しています。1990年にFAUN社、2019年にDemagブランドのクレーン事業を買収し、さらなるグローバル化に取り組んでいます。

また、地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、すべてのステークホルダーの期待に応え、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指しています。

#### **【会社概要】**

会社名:株式会社タダノ

所在地:香川県高松市新田町甲 34 番地

代表者:代表取締役社長・CEO 氏家 俊明

設立:1948年8月24日

URL:<https://www.tadano.co.jp/>

事業内容:建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売

#### **【お問い合わせ先】**

当社 Web サイトの「[お問い合わせ](#)」より、「データ提供サービスの利用について」カテゴリを選択してお問い合わせください。